

報道関係各位

平成25年8月14日

## 北海道立総合研究機構の研究成果が活用された 実証住宅が建設されることになりました

### 一 概 要

道総研の戦略研究の成果の一部が活用された実証住宅が建設されることになりました。

道内には豊富なカラマツ材がありますが、これまでその主要用途はチップや梱包材でした。道内のカラマツ資源量は充実していることから、高付加価値を持つ道産カラマツ建材への利用拡大が必要とされています。

そのような背景を受け、道総研では道産木材活用のため、中径木カラマツ材のねじれや割れを抑制する乾燥技術の開発により、心持ちカラマツ材を用いた柱の開発等の研究を行っており、今般、この研究成果の一部を活用した実証住宅が建設されることとなりました。

下記の日程で現場見学会を開催しますので、積極的な取材をお願いいたします。

### ◆現場見学会

日 時：平成25年8月18日（日）10：00～17：00

そのうち、研究職員等による説明会を

① 11：00、② 14：00、③ 16：00 の計3回実施します。

場 所：旭川市東旭川町上兵村268番地

※ 経済記者クラブにも同時配付

詳しくはこちらへお問い合わせください。

【総合窓口】

（地独）北海道立総合研究機構 連携推進部（担当：白幡）011-747-2812

【研究開発に関すること】

同 林産試験場（担当：斉藤）0166-75-4233

【研究開発・現場見学会に関すること】

同 北方建築総合研究所（担当：細谷）0166-66-4218

道総研の研究成果が活用された実証住宅が建設されます



ここから  
はじまる  
森をつくる住まい



道総研の道産木材活用の取り組み

背景

- カラマツ材の主要用途はチップや梱包材
- 道内のカラマツ資源量が充実



高付加価値を持つ道産カラマツ建材への利用拡大が必要

研究概要

- ・ カラマツ材のねじれや割れを抑制する乾燥技術の開発
- ・ カラマツ材を用いた木質建材の開発 など

期待される成果

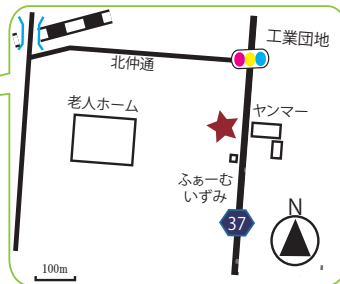


建材の地産地消 道内建材市場の活性化 新たな魅力ある住まい

この研究成果の一部が活用された実証住宅「Square House」が建設されることになりました。



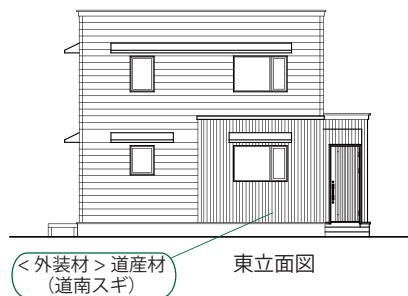
Square House の場所



- 住 所：旭川市東旭川上兵村 268 番地  
(工業団地ヤンマー様西向かい)
- 協力機関：施工業者  
有限会社 新濱建設【シンハマホーム】  
旭川市西神楽北 1 条 4 丁目 234 番地の 42  
TEL.0166-75-3134  
<http://shinhamas-asahikawa.com/>



Square House 概要



工事予定

- 7 / 11 地業(地盤工事)
- 8 / 2 基礎工事
- 8 / 5 建方(上棟式)
- 8 / 18 10:00~17:00  
現場見学会  
説明会(11:00 14:00 16:00)
- 8/下旬 内装工事予定
- 9/下旬 竣工予定
- 10/月上旬 内覧会予定

